

## ベトナム・ダナン市について

### <基本概要>

- 人口約 94 万人（2010 年末）、面積 1,256k m<sup>2</sup> を有するベトナムの中央直轄市であり、また国際空港及び国際港を有し、ベトナム中部における経済・文化の中心地である。南北ベトナムの国道（陸路）、海路、および航空路のほぼ中央という要所になっており、安定的な社会経済発展のために有利な地理的条件下にある。
- 古くから重要な貿易港として栄え、現在もティエンサ港とハン港から成っているダナン港を中心として、ミャンマー、タイ、ラオス、ベトナムをつなぐ「東西経済回廊」の起点として、重要な役割を担っている。
- 森、海、川が揃った自然豊かな都市でもあり、観光地としても名高い。現在は、リゾート開発やビーチ観光も積極的に進められている。
- 主な産業は、工業・建設分野や商業、輸送・通信などのサービス分野で、GDP 成長率は 2001 年～2006 年の平均で 12.47%、2011 年には 13%と高い経済成長を続けており、ベトナムの次なる投資先として注目されている。



### <川崎市との交流>

- 1994 年 01 月 「川崎港・ダナン港友好港提携調印書」を締結
- 2007 年 10 月 「経済協力に関する覚書」を締結
- 2009 年 02 月～ ダナン市人民委員会委員長等が川崎国際環境技術展に参加（以後継続）
- 2012 年 02 月 川崎市長・ダナン市人民委員会委員長間で環境分野等での協力の覚書を締結
- 2012 年 08 月 かわBizネット得水ビジネスの対象国・地域にダナン市を設定、協力団体としてダナン駐日代表部が参加
- 2013 年 02 月 かわBizネットでセミナーを開催しダナン市国際協力部長や会員が参加
- 2013 年 08 月 ダナン市人民委員会委員長が川崎市長を表敬訪問。また、かわBizネットについてプレゼンテーション

### <水分野の状況>

#### ◇ 国家政策

- 2015 年までにカテゴリーⅢ以上の都市人口の 90%に安全な水を供給、2025 年までに全都市で 100%を計画
- 2015 年までにカテゴリーⅢ以上の都市人口の 40-50%、2020 年までに 60%で汚水の収集と処理を計画
- 国家目標では、2011～2015 年までに農村部の水供給に対し 21 兆 8000 億ドンを投資

#### ◇ ダナン市の状況

- 最近の気候変動により、特に乾季に水源となる河川の流量が低下し塩害も発生。近隣地域の開発により将来的な水不足の懸念
- 水道公社による水道普及率は 2011 年に 81%、2025 年に 96%の予定。現在表流水を水源とし、浄水能力は約 20 万m<sup>3</sup>/日。郊外では井戸を使用。飲用には煮沸が必要
- 一般家庭からの下水は一部で一次処理されているが未処理のままの放流も多く、下水処理の早期改善が望まれている。

## ベトナム・バリアブントウ省について

### <基本概要>

- ・ ベトナム南部のホーチミン市郊外に位置する人口約100万人、面積1987.4km<sup>2</sup>の省で、主な都市は省政府のあるバリア市（人口約12万人、面積91.46km<sup>2</sup>）とリゾート地のブントウ市（人口約32万人、面積140km<sup>2</sup>）
- ・ 海上で石油を産出するほか、仏領時代から別荘地として栄え、観光収入が豊富なことから、住民1人当たりGDPは国内平均（1,374ドル）を大きく超える約5,800ドルで、63ある中央直轄市・省の第1位
- ・ ASEAN自由貿易協定（AFTA）に基づく2015年のASEAN域内関税撤廃<sup>※1</sup>に向けて、政府がハイフォン（北部）と共にバリア・ブントウ（南部）を裾野産業育成の重点地域に指定
- ・ 国の重点指定を受けたことも踏まえ、めっき産業を始めとする裾野産業を育成するための工業団地造成など環境整備に積極的に取り組みつつある。



### <川崎市との交流>

- |          |  |
|----------|--|
| 2011年03月 | バリアブントウ省人民委員会首席を団長とするバリアブントウ省代表団が川崎市を訪問し、川崎市・川崎商工会議所と意見交換          |
| 2011年11月 | バリアブントウ省視察ミッション団に川崎市が参加（NPO アジア起業家村推進機構主催）                         |
| 2012年04月 | 党委員会書記長を団長とするバリアブントウ省代表団が川崎市副市長を表敬訪問、市内を視察                         |
| 2012年09月 | 川崎市でバリアブントウ省と川崎市との間で産業交流の覚書を締結、投資セミナーを開催。また、同省商工局と川崎商工会議所との間でも覚書締結 |
| 2013年08月 | バリアブントウ省で開催された日越交流40周年記念行事に川崎市から参加                                 |

### <水分野の状況>

- ◇ 国家政策
  - ・ 2015年までにカテゴリーⅢ以上の都市人口の90%に安全な水を供給、2025年までに全都市で100%を計画
  - ・ 2015年までにカテゴリーⅢ以上の都市人口の40-50%、2020年までに60%で汚水の収集と処理を計画
  - ・ 国家目標では、2011~2015年までに農村部の水供給に対し21兆8000億ドンを投資
- ◇ バリアブントウ省の状況
  - ・ 給水システムは20世紀初頭に建設。普及率はブントウ市で96%、バリア市で85%、他の都市部では約50-60%
  - ・ 今後、3550億ドン規模のバリア市排水処理システムを建設する予定
  - ・ 農村部で国の水質基準を満たす水の普及率は2013年末に70%、2015年までに79%を予定
  - ・ 環境汚染防止に配慮した排水処理施設整備は不十分
  - ・ メッキ工場からの排水が河川汚濁を招いているため、適切な排水処理に向けた調査をバリアブントウ省が希望

※1 2010年1月1日、ASEAN6カ国（ブルネイ、インドネシア、マレーシア、フィリピン、シンガポール、タイ）でほぼ全品目の関税が撤廃された。ASEAN新メンバー4カ国（カンボジア、ラオス、ミャンマー、ベトナム）では2015年1月1日に原則としてすべての品目の関税が撤廃される。